

# リスクファイナンス研究会 報告書

～リスクファイナンスの普及に向けて～

平成18年3月

リスクファイナンス研究会  
経済産業省



# 目 次

## I リスクファイナンスの発展に向けて

はじめに	3
<b>1．リスクファイナンスの経営・財務上の意義</b>	6
1 - 1 企業経営とリスクファイナンス	6
1 - 2 リスクの顕在化と経営悪化スパイラル	6
1 - 3 リスクファイナンスの最適化を考える際の視点	7
1 - 4 保険市場・再保険市場の規模的制約	12
1 - 5 海外および国内先進企業の取り組み	12
<b>2．日本におけるリスクファイナンスの現状と課題</b>	15
2 - 1 内部要因	15
2 - 2 外部要因	16
2 - 3 リスクファイナンスを提供する金融事業者側の現状と課題	18
【参考】各金融機関のリスクファイナンス商品提供に係るビヘイビア	20
2 - 4 税務・会計面の課題	21
<b>3．リスクファイナンスの普及に向けた主な提言</b>	22
3 - 1 リスクファイナンス手法の多様化に向けて	22
【参考】地震リスク対応手法の多様化に向けた試み	25
3 - 2 リスクファイナンスの促進に向けて	27
おわりに	31

## II リスクファイナンスの具体的な手法の紹介

<b>第1章 リスクファイナンスの検討プロセス</b>	35
<b>1. リスクの保有と移転</b>	35
【コラム】グローバル・プログラム	36
<b>2. リスクファイナンス手法の商品性</b>	37
2-1 支払即時性（流動性の確保）	37
2-2 実損填補	37
2-3 商品の個別性	38
2-4 リスクファイナンス活用にあつるコスト	38
2-5 契約期間	38
2-6 会計（財務会計）の観点	39
2-7 その他の商品性	39
<b>第2章 流動性確保策としてのリスクファイナンス</b>	41
<b>1. 融資枠契約を活用した資金調達</b>	41
1-1 コミットメントライン	41
1-2 コミットメントラインの提供者	41
1-3 コミットメントラインのメリット	42
1-4 コミットメントライン利用の留意点	42
1-5 コンティンジェント・デット（コンティンジェント・コミットメントライン）	43
【コラム】中小企業のコミットメントラインニーズ	45
<b>第3章 リスクファイナンスにおける金融・資本市場の活用</b>	46
<b>1. 保険デリバティブ</b>	46
1-1 保険デリバティブ	46
1-2 保険デリバティブの提供者	47
1-3 保険デリバティブのメリット	48
1-4 保険デリバティブ利用の留意点	48
1-5 保険デリバティブの活用状況	49
<b>2. CATボンド</b>	49
2-1 CATボンド	49

2 - 2	CATボンドの提供者	5 0
2 - 3	CATボンドのメリット	5 1
2 - 4	CATボンド発行の留意点	5 2
2 - 5	CATボンドの活用状況	5 3
	【コラム】格付けとプレミアム	5 6
	【コラム】コンティンジェント・エクイティ	5 6
<b>第4章</b>	<b>先進的保険手法を通じたリスクの保有・移転</b>	<b>5 7</b>
<b>1</b>	<b>リスクの保有・移転と先進的保険手法</b>	<b>5 7</b>
1 - 1	高額免責の設定	5 8
1 - 2	不担保特約の活用	5 8
1 - 3	支払限度額の設定（ファースト・ロス）	5 9
1 - 4	マルチトリガー	5 9
1 - 5	複数リスクによる保険金額の共有	6 0
	【コラム】引き受け困難なリスクへの挑戦	6 0
	【コラム】リスクシェアリングプログラムの考え方	6 1
<b>2</b>	<b>ファイナイト保険</b>	<b>6 2</b>
2 - 1	ファイナイト保険	6 2
	【参考】ファイナイト保険の一例	6 2
2 - 2	ファイナイト保険の提供者	6 3
2 - 3	ファイナイト保険のメリット	6 3
2 - 4	ファイナイト保険活用の際の留意点	6 4
	【コラム】ファイナイト保険の保険性	6 4
	【参考】ファイナイト保険（主に再保険）に関する規制の動向	6 5
2 - 5	ファイナイト保険の活用状況	6 6
<b>3</b>	<b>キャプティブ</b>	<b>6 7</b>
3 - 1	キャプティブ	6 7
	【参考】キャプティブの形態	6 7
3 - 2	キャプティブ設立をサポートする機関	6 9
3 - 3	キャプティブのメリット	6 9
3 - 4	キャプティブ活用の留意点	7 1

3 - 5	キャプティブの活用状況	7 1
	【コラム】料率格差を利用したキャプティブ	7 5
	【コラム】設立検討段階の企業と保険会社の関係	7 5
	【コラム】米国におけるキャプティブ発展の経緯	7 6
	【コラム】その他、米国における企業のリスク保有の手法	7 7
<b>第5章</b>	<b>セーフティネットの高度化</b>	7 8
1 .	政府系金融機関による災害復旧貸付制度	7 8
2 .	セーフティネット保証	7 8
3 .	産業基盤インフラの早期復旧	7 9
4 .	被災後の対応と事前の備え	7 9
5 .	セーフティネットの高度化に向けて	8 0
	【参考】米国におけるセーフティネット	8 4
	【コラム】地震リスク対応の難しさ	8 5

### III 先進企業におけるリスクファイナンスの取り組み

- |  |       |
|--|-------|
| 1 . 地震リスクマネジメントへの取り組み<br>～ 来るべき東海地震に備えて～     | 8 9   |
| 株式会社巴川製紙所                                    |       |
| 2 . 金融・財務的手法を活用した地震リスクへの対応                   | 9 9   |
| 株式会社オリエンタルランド                                |       |
| 3 . 少頻度大規模損失への対応<br>～ ファイナイト保険契約締結の検討過程について～ | 1 1 1 |
| シナネン株式会社                                     |       |
| 4 . キャプティブ活用のメリット                            | 1 1 7 |
| 横河電機株式会社                                     |       |
| 5 . 日産自動車におけるキャプティブの活用方法の変遷                  | 1 2 3 |
| 日産自動車株式会社                                    |       |
| 6 . キャプティブへの取り組み                             | 1 2 9 |
| 三井物産株式会社                                     |       |
| 7 . 三菱商事におけるキャプティブの活用                        | 1 3 5 |
| 三菱商事株式会社                                     |       |
| 8 . 東北電力におけるリスクマネジメントの取り組み                   | 1 4 1 |
| 東北電力株式会社                                     |       |

## リスクファイナンスに係る調査報告書

- |               |     |
|---------------|-----|
| 1. アンケート調査の概要 | 151 |
| 2. 本調査の主な結果   | 151 |

<b>委員等名簿</b>	171
--------------	-----

<b>「リスクファイナンス研究会」審議一覧</b>	173
---------------------------	-----